

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.16(2018年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



『公立高校教師 YouTuber が書いた 一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書』 山崎圭一

YouTube で公開している授業が評判の公立高校の先生が、このたび本を発行しました。一般的な世界史の教科書を読んでいると複雑で頭がこんがらがってくる人も多いようですが、この本は「できごとを数珠つなぎにしてストーリーとして解説する」「主語が変わるのを最小限に抑える」「年号を使わない」などの工夫で、生徒ばかりか世界史の教師にも好評みたいです。

『学校の「当たり前」をやめた。 — 生徒も教師も変わる! 公立名門中学校長の改革 —』 工藤 勇一

学校には「当たり前」のように行われていることがありますね。「宿題がある」という当たり前、「中間・期末テストがある」という当たり前、「クラスには学級担任がいる」・・・etc. ところが東京のある公立中学校の校長は、「何のために宿題やテストや担任があるのか、その目的を突き詰めればこれらは必要ないことが分かる。」と考えて、思い切ってこれらを廃止してしまいました・・・さてその結果は?

『小説 響 HIBIKI』 豊田美加 ほか

累計発行部数が200万部を超えた2017年マンガ大賞受賞の人気『響 ~小説家になる方法~』が昨秋、映画となって公開されました。この本は、その映画をさらにノベライズ化した作品です。「常識をぶっ壊す」天才女子高校生が、小説家を目指すストーリーです。

『青くて痛くて脆い』 住野よる

『君の臍臓をたべたい』の作者が世に問う、最新の青春小説です。ちなみに「脆い」は、「もろい」と読みます。

正反対の性格の大学生二人は、なぜか共鳴し合うものを感じます。そして秘密結社のようなサークルを作るところまでは良かったのですが・・・

長期貸出実施中です!

1年に1度の蔵書点検の日が近づいてきました。2月20日(期末テスト初日)~3月21日まで、この間は本は借りられません。そのため、今は3月22日まで本を借りられます。なお、テスト期間中は図書館で自習は可能ですが、午後1時で閉館となります。

『全解説 英語革命2020』 安河内 哲也

ご存知のように、2020年からセンター試験が廃止され、新しい試験に変わります。中でも最も変化の度合いが大きいのが英語で、GTECなどの民間試験も選択肢に入ります。しかし制度にまだ流動的な部分も多いので、不安な人も少なくないでしょうね。筆者は東進ハイスクールのカリスマ英語教師で、文科省の審議会委員として、今回の英語入試改革にも深く関わってきました。その彼だからこそ書ける解説をぜひ読んでみて下さい。

『台風についてわかっていること いないこと』

日本には毎年台風がやって来て災害をもたらしますが、じつは「どのようにして発生するのか」など、多くの謎に包まれているのです。この本では台風の研究者6人による最新の台風学が読めます。

『ベケット戯曲全集』 サミュエル・ベケット

幕が上がると、舞台上には腰まで地面に埋もれた女性。しかしなぜか彼女はその姿のまま歯を磨いたりお祈りしたり、と「日常的行動」をするのですが・・・衝撃的な『ハッピーデイズ』ほかを収録。

趣味の本も、色々と入りました!

まずは『煌めくハーバリウム』。ハーバリウムとは植物標本のことで、最近では観賞用として自分で作る人も増えてきました。インスタ映えするアイテムとして、プレゼントにも喜ばれますよ。『はじめてでも上手にできる 刺しゅうの基本』は、刺しゅう作家で教室も開いている川畑杏奈氏の本。教室で生徒さんの悩みや失敗を解決していくうちに、初心者でもできる刺しゅうを編み出したそうです。最後に『はじめてのキャンプ for Beginners』。プロによるキャンプ道具の選び方・使い方指南です。

『甲辞園』

ベースボール・マガジン社 あの「広辞苑」と「甲子園」を足して2で割ったようなネーミングの本書は、高校野球大会100回を記念した、いわば「甲子園の事典」です。「大会第1号ホームランを打ったのは誰?」など、560項目にもおよぶ高校野球のウンチクを楽しんで下さい。



『カササギ殺人事件』

アンソニー・ホロヴィッツ

これは記録的な話題作です! その年の優秀ミステリーに賞を贈る「ミステリーが読みたい!」「週刊文春ミステリーベスト10」「本格ミステリ・ベスト10」さらに「このミステリーがすごい!」の海外部門で1位を取りました。過去には3つを受賞した「3冠」ならありましたが、「4冠」は史上初めての快挙です。

今号のひとこと

Non quia difficilia sunt, non audemus; sed quid non audemus, difficilia sunt.

難しいから挑戦しないのではない。

挑戦しないから、難しいのである。

ルキウス・アンナエウス・セネカ (紀元前4頃—65)

何ごともやる前から「これは難しい。」「無理だ。」と尻込みしてしまうのは、戦う前からすでに負けているようなものですね。やってみると意外にハードルが低かった、という経験は次の経験に生きてきますので、皆さんも挑戦の大切さを忘れずに。

セネカは古代ローマを代表する文人の一人で、あの「暴君」ネロ皇帝の幼少期の家庭教師でもありましたが、そのネロから自殺を命じられた悲劇の人です。